

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第12回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

- ・ 地域独自の予算の事業一覧について

(2) 協議事項（公開）

- ・ 地域活性化の方向性について

(3) 自主的審議事項（公開）

- 1) 次年度のスケジュールについて
- 2) 各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和5年3月24日（金）午後6時30分から午後7時56分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、田中裕子（副会長）、谷 健一
藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、吉田 実（副会長）、吉田義昭
渡部忠行（欠席5人）

- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

- ・挨拶

【藤井係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告。

【太田会長】

- ・会議録の確認：田中副会長に依頼

次第3議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算の事業一覧について」に入る。
事務局から説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1により説明

【太田会長】

今の説明に質疑を求める。

【渡部委員】

春日区は地域自治区別事業一覧で見ると全体件数、予算額が最低である。これについて事務局はどう考えるか。

【小林センター長】

新たに「地域独自の予算」がスタートし、市として全市一律の基準で審査させていただいた結果、このような結論になった。

地域活動支援事業と比較すると、確かに金額、件数ともに春日区は減っている。事務局としては事実として捉え、どうしたら「地域独自の予算」が地域の活性化に繋がっていくかを今後検討していきたいと考えている。

ただ、「地域独自の予算」では、インフラ整備や活動を伴わない備品の購入、受益者負担が適当と思われるものなどは対象外であるということをご理解いただきたい。春日区では、こういった経費の割合が高かったと思う。

【渡部委員】

春日区内から申請された件数は何件か。

【小林センター長】

8件である。

【渡部委員】

今回、件数や金額が極端に減ったことで、春日区地域協議会は何をしているのか、と言われてしまう。

【小林センター長】

「地域独自の予算」は市が申請受付と審査をしており、地域協議会へ審査を依頼したわけではない。そのため地域協議会委員が責任を負うものではない。

これまでの地域活動支援事業と比較して、件数、金額が減っていることについて補足する。確かに「まちづくり」の進捗を金額で語る部分はあると思うが、皆さんも経験してきたとおり、地域活動支援事業の採択には賛否両論があった。

つまり、制度の改善の余地があったのではないかと思う。

補助金に頼らず自立して活動していることこそが本当の「まちづくり」ではないかと思う面はある。

繰り返しになるが「地域独自の予算」という制度が春日区において、うまく機能したかどうかを、これから皆さんとよく議論したいと考えている。

【太田会長】

私たちからも、これら団体へ働きかけをして、「地域独自の予算」があるので活用してくださいと情報共有をしなくてはならなかったと思う。こういう結果になってしまったのは、様々な活動をすくい上げができなかったという、自分の力量不足だと捉えている。

事務局に色々な意見を言うばかりではなく、私たち委員が次年度以降、いろんな活動団体をサポートしながら「地域独自の予算」を活用するように促していくべきではないか。

【渡部委員】

市が開催した説明会の席上で、インフラ整備はすべて駄目だという認識になったのではないかと思う。もっとうまく申請して説明がつけば、採択されたのではないか。

他の地区の一覧表を読むと、中身はもちろん分からないが、結局インフラ整備も最終的にはよさそうである。

活動に必要な経費であれば採択される可能性があるが、スタート段階で厳しく説明されたのが結果につながっているように思う。

【小林センター長】

中部まちづくりセンターでは制度の定めを遵守しながら皆様に説明してきた。

ただ、他の区と比較すると確かに検証の余地はあると思う。その議論を避けるつもりはなく、これから関係者と話し合っていきたい。ただ、自主自立のまちづくり活動を推進する立場から、それは補助金の件数と金額で計られるものかという本質的な議論にもつなげていきたいと考えている。

【吉田義昭委員】

この数字を見て、非常に少ないのがっかりした。

他の地域協議会の議事録もいくつか読んだが、非常に話し合いが進んでいると感じた。我々の使命は何であるのか。地域を活性化するために活動しなくてはならない。課題はどこにあるかを団体から吸い上げ、審議を重ねてから関係団体に提案していく。

会長やセンター長は、これから考えていきたいと発言したが、具体的なビジョンを持って進めるのかははっきり示してほしい。

「地域独自の予算」は市で行うから、地域協議会は自主的審議を進めてほしいと言われるが、結果がこうであると、もっと町内会などにフィードバックして、新しい提案を出してもらうべきではないか。

我々が働きかけをしてこそ活性化するのであって、黙って見ているスタンスならば審議をする必要はない。私は、我々の審議をどうまとめるつもりなのかを聞きたい。

【太田会長】

三役の事前打ち合わせでも同様の話が出た。今年度は一度しかできなかったが、町内会長連絡協議会との情報交換会を密に行い、今まで地域活動支援事業に提案した団体と意見交換もしなければならぬと考えている。

年度が変わってから、情報交換や意見交換をしながら、委員だけではなく活動団体との連携、支援をしていきたい。

【吉田義昭委員】

そういう話は前から発言されていた。ただ、独自の予算は今年の9月までに提出しなければならないので、具体的な計画を出してほしい。

【吉田副会長】

振り返ってみれば制度の大転換があり、地域活動支援事業の審査等は地域協議会の手から離れた。

確かに提案件数と金額が少なくてがっかりしたが、「地域独自の予算」は地域協議会活動の範疇ではなく、事務局に任せた結果であり仕方がないことである。

ただ、会長の発言のとおり、今年はできるだけ地域活性化の案を各団体に提案する必要はあると思う。

具体的に地域活性化の理念に基づいて、過去の提案をきちんと反省してから、残すもの、切り捨てるものがたくさんあると思う。各委員が地域に何が必要かを、しっかり考えて協議していく必要があると思う。

【市川委員】

各区でこれだけの事業が提案されているということは、もう各区であらかじめ準備していたからだと思う。地域活動支援事業は変わるとは聞いていたが、どういうふうになるのか全くわからない。町内会長会でも全くわからない。町内会長と話した時には既に締め切ったので間に合わないとのことであった。

ただ、びっくりしたのは各区で出ている提案は全く今までと変わっていない。それが採択されるということは、春日区でもある程度説明すれば、同じような事業提案があったと思う。

どれくらいの人が「地域独自の予算」について知っていたか本当に疑問である。他の区と異なり、春日区だけ事業提案がないのは、それだけ周知徹底がなされてなかったからではないか。

また、各区の提案を見て思うのは、行政でできるものは行政でやるのが筋ではないかということである。行政がやるべきものを地域独自の予算でやっていて、将来的に見直すといっているが、今後どうなるか全く先の見当がつかない。もう少し本当に真剣に考えないといけない。春日区だけの問題ではない。

【小林センター長】

13区の団体に先に話が広まって、準備がなされたということは一切ない。町内会長と令和元年度からの地域活動支援事業の実施団体に対して、郵便で案内し説明会を行うという進め方は、どの区も同じである。

ただ、周知が十分でなかったという反省も事務局で受けとめて、次回は早目にお知らせしたいと考えている。

【本多委員】

市川委員の意見と同様である。

行政が進めるべき事業を、地域独自の予算で選択して事業化しているように見える。

【小林センター長】

本来は行政がすべき事業が他の区では入っているとの質問だが、他の区の予算要求は中部まちづくりセンターの範疇ではない。当センターでは、制度に則って受け付けた事業を予算査定に回付した。その結果と受け止めている。他の区と同じ審査基準で予算査定が行われたと思う。

疑義の生じる部分は検証の余地があるとは思ふ。誤解を生じさせたことは申し訳ないと思う。

ただ、補助金の申請件数や金額は大事な指標だと思うが、まちづくりの進捗を測る尺度はこれだけなのか、別に議論したいと思う。

【本多委員】

春日区がスタートで出遅れたため、申請が間に合わなかった感じは否めない。今後は大々的にアピールしてほしいと思う。

【吉田義昭委員】

昨年度、他の区では地域協議会が中心となって町内会や行政関係者を集め、「地域独自の予算」をどう進めるか審議していた区もあった。要するに計画して進めていただければ、今年度の反省を踏まえて次のステージに踏み出せると考えている。ぜひ、その方向で進めていただきたい。

【谷委員】

地域協議会が主催する活動団体の事例発表会を行っていない。これでは事業をやりっぱなしで中身の精査ができない。地域協議会も事務局も全員でまちづくりの基本を真剣に考えていくべきだと思う。まちづくりの観点から考えていけば、もっと良い提案も出てくると思う。

【太田会長】

今年度の結果は出ており、令和5年度に向けて改善するところはしていくべきである。13区と15区の違いもあり、他の区と同様にはいかない部分もあるが、熟議しながら進めていきたい。

地域独自の予算のPRは、委員全員でやっていかなければいけないと思う。

【吉田副会長】

この地域独自予算に対して地域協議会として何をするかは、事務局と相談して進めて行かなければならない。これから新しいことをやろうとしていることは、しっかり認識しなくてはいけない。

【渡部委員】

エントリーシート採用の可否を決めたのは、まちづくりセンター長か。

【小林センター長】

私は組織の一員であり、組織全体の合意形成で採択を決めている。私一人で決めたわけではない。

【渡部委員】

インフラ整備が全部駄目だとか、その辺りが厳し過ぎたので、低調だったと思う。例えば、交通安全協会では道路に白線を引くといったインフラ整備の前に各町内から延べ約100人かけて危険箇所の点検を行うというソフト事業部分もあるのだが、余りにもハードルが高過ぎたのではないか。

【小林センター長】

問合せの件は個別の相談として承りたい。今は地域協議会であり、時間も限られている。

【太田会長】

中部まちづくりセンターは春日区だけではなく、合計5区を担当している。春日のみハードルが高過ぎたということはないと思う。

以上で次第3議題「(1) 報告事項」の「地域独自の予算の事業一覧について」を終了する。

次に次第3議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」に入る。まず三役と事務局で素案を作ったので提示させていただく。

【藤井係長】

- ・資料2・3により説明

【太田会長】

資料2には、三役と事務局で構成要素をある程度まとめてみた。

上杉謙信の居城「春日山」をいかした観光振興、地域の歴史・文化をいかした郷土愛の育成、災害に強い地域の自主防災組織の構築、謙信公祭などの歴史文化・交流事業の推進の4つを構成要素として挙げ、まとめてみたいと思う。意見等あるか。

4本の柱は、このとおりでよいか。

【谷委員】

事前に配布された資料3と当日配布の資料になっているが、イベントや行事が4つ

の中にまとめて入れたというふうに理解している。そういう説明がないとわからない。

【太田会長】

最後のイベントや行事を通じた世代を超えた交流の創出をカットしたわけではなくて、その部分も含めた中で構成要素、4つにまとめたと理解していただきたい。

【吉田副会長】

イベントというのは地元の具体的な事業。イベントや行事を通じた世代を超えた交流の創出であるため、謙信公祭などの歴史文化交流事業の推進に変えた。

キーワードとして謙信公祭を一つ挙げ、交流事業の推進と表現を変えてみた。趣旨はそういうことである。

【太田会長】

方向性のテーマは大変アバウトで幅広い響きがあるが、原案のとおりとして協議会としては、これまでの審議に戻りたいと思う。

(よしの声)

以上で次第3 議題「(2) 協議事項」の「地域活性化の方向性について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) 自主的審議事項」の「1) 次年度のスケジュールについて」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料4により説明

【太田会長】

自主的審議の年間スケジュールはこのような形でよいか。

(よしの声)

以上で次第3 議題「(3) 自主的審議事項」の「1) 次年度のスケジュールについて」を終了する。

次に次第3 議題「(3) 自主的審議事項」の「2) 各分科会における審議の状況について」に入る。

各分科会から報告・提案をいただく。

【吉田副会長】

- ・観光分科会について、資料に基づき説明

【本多委員】

- ・安全・安心分科会について、資料に基づき説明

【吉田副会長】

地域独自の予算で、上越市防災士会津有支部が提案されている。春日支部が結成されたら、同様に独自の予算の活用を検討していただきたい。

各町内会に自主防災組織はあるのか、本当の災害時には春日全体でどう行動するのか、避難所の収容可能人数は充足しているのか等を広い視野で検討してほしい。

【太田会長】

春日支部を結成してもらうことが第一の目標である。その後は、独自予算の活用などで市のサポートも受けていただきたい。

【吉田 義昭委員】

- ・福祉分科会について、資料に基づき説明

【吉田副会長】

個人的に福祉分科会に期待していたのは、高齢者の生きがいづくりである。社会福祉協議会が月に何回か謙信交流会館でサロンを行っているが、地区全体で1か所では高齢者の移動が困難という課題がある。

別件だが、いきいきコンサートで高齢者が一緒にコーラスをする場も含めていただければと思う。

【太田会長】

以上で次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「(2) 各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) その他」である。本日の議題の他、報告や確認すべき事項等について発言を求める。

(発言なし)

以上で次第3 議題「(3) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局から説明を求める。

【藤井係長】

- ・開催日の定例化について説明
- ・次回の協議会について説明

【太田会長】

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：4月18日（火）午後6時30分から 市民プラザ（予定）
- ・内容：（協議事項）地域活性化の方向性

（自主的審議事項）各分科会の審議状況

その他、何かあるか。

（発言なし）

- ・会議の閉会を宣言

※閉会后、必要な分科会のみ、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。